

いしづみ 良心の碑

聖書の言葉

「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。
 悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。
 柔和な人々は、幸いである、その人たちは地を受け継ぐ。
 義に飢え渴く人々は、幸いである、その人たちは満たされる。
 憐れみ深い人々は、幸いである、その人たちは憐れみを受ける。
 心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る。
 平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。
 義のために迫害される人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである。」
 (マタイによる福音書5章3～10節)
 朗読 木原康博

9月 月例会

日時 9月21日(木) 2時～4時
 発表者 津田道夫
 テーマ 小崎家アルバム

小崎家アルバム

小崎弘道の妻、千代が整理していたとされる写真アルバム。津田道夫さんがアルバムの所蔵者露木章さんから依頼を受けて写真一枚一枚の出所を調べ、コメントを付けた上で、2022年4月露木さんより同志社大学に寄贈したものです。

小崎家 三兄弟

明治9年小崎家一家は熊本より京都に移住し、三人の兄弟(弘道、継憲、成章)は同志社に入学。弘道は牧師から同志社第二代会社長に就任。継憲は生糸会社と銀行で働く

が、発明家に転じた。成章はハーバード大学に留学、同志社教授を経て七高の英語教師になった。

津田仙と千代

千代の父、岩村信達は昌平坂学問所に学んだ優秀な幕臣であったが37歳で他界。幕府も崩壊し千代の兄弟たちは困窮した。津田仙は、苦しい生活の中で勉強熱心だった千代を自宅に引き取り養育した。

弘道と千代の結婚

明治14年(1881)小崎弘道と岩村千代は津田仙の仲人で結婚した。小崎は結婚の二年前に新肴町教会(現在の霊南坂教会)を設立していたが、生活は苦しかった。弘道と千代の結婚証明書が青山学院に残されている。ちなみに千代は青山学院一期生である。

小崎家の雛人形

弘道の母・百壽は明治18年頃から海岸女学校(のちの青山学院)で押絵を教えた。押絵は江戸時代に大奥で流行した手芸で、現在でも羽子板や額絵などで使われている。弘道・千代の長女、すなわち百壽の初孫が誕生したとき、百壽は七段飾りの雛人形を製作した。この雛人形は小崎家から青山学院に寄贈され、いまでもひな祭りの季節に



▲小崎家・岩村家・津田家 大集合

青山学院資料センターで展示されている。

小崎家と高田畊安一家

高田畊安は京都府出身の医者。かれは新島襄によりキリスト教に入信する。明治32年、茅ヶ崎にキリスト教系結核療養所の南湖院を開設。最初の患者は勝海舟の妻・民子(享年87)。畊安は勝海舟の孫・疋田輝子と結婚。

大正13年、畊安の次男・重正は小崎弘道の四女と結婚する。重正は東大医学部を卒業し、畊安を継いで昭和20年2月に南湖院院長に就任する。

(編集後記)小崎家・岩村家・津田家ゆかりの方が多数ご参加くださいました。その中のお一人から、「明治期のキリスト者の家は、結婚を通して網の目のような親戚関係を築き上げた。まるでマフィアのような組織だった」との発言があり、みなさんが深く頷いていました。

◎新会員三名

- 井川 明 (川口市・法学部卒)
 - 望月初穂(世田谷区)
 - 三宅賢子(横浜市・女子大英文学卒)
- (文責:支倉 写真:江澤)

10月例会は講演会です。新島襄の思想形成について新たな解釈が示されます。

日時 10月13日(金) 1時30分受付
 講師 八木橋康広(備中高梁教会・前牧師)
 演題 『新島精神の淵源を辿る―新島七五三太と備中松山藩の絆』
 運営 受付(宇野・末松・福間・支倉)
 司会(江澤) 聖書(片桐)
 祈祷(三瀬) 写真(木原)
 懇親会(支倉・眞下) 会計(福間)

窓

「チャットGPT」はとてつもなく賢いものらしい。まだ実際に使ったことがないので、報じられている限りですが、簡単には「文章を生成する事前学習済みの人工知能(AI)装置」といえるようだ。テーマを与えれば、わずか数分でレポートをまとめ上げてくれるという。
 われわれが学生時代に課題のレポートを作成するのに、汗をかきながら資料を読み込み、分析を試み、悶々と悩み、

拙いながらも「考察」なるものを導いていったあの作業は何だったのだろうかと思わずにいられない。
 学生にはそれなりの作法があった。やらなければならないのは自分の頭で考えること、やってはいけないのは人の意見を盗むこと。いくら苦しくても、資料を丸写ししない、他人の論文を勝手に引用しない。コピーは許されない。何が善で、何が悪であるかを判断する意識、「良心」が求められた。今の時代にも通じる作法であろう。

チャットGPTにも作法はあるのか。しかし、チャットGPTは、サイバー空間を漂う(正確性に問題があるものも含めて)あらゆる情報、つまり他人の思想や発言を「事前学習」、いわばつまみ食いし、これらをあたかも自分が編み出した言葉のように差し出すAI装置であることを忘れてはいけない。これは壮大なるコピーマシンではないのか。
 昔の学生が程度の差こそあれ、作法にこだわったのは、「良心」が許さなかったからだ。チ

ャットGPTは何をなすべきか、何をなしてはならないのかという「良心」を持ち合わせているのだろうか。もとよりコピーマシンである以上、「良心」を問うこと自体、無意味なのか。「良心」を問われるべきは、チャットGPTに仕事を任せている人間なのだ、ということで済ませていいのだろうか。
 チャットGPTに「良心とは何か」と問いかけてみたい。「良心之全身ニ充滿シタル『AI』ノ起リ来ラン事ヲ」と呼びかけてみたい。(福間 幸)